

ごあいさつ



阿 部 宏 慈

ダイバーシティ連携推進会議議長
山形大学理事・副学長
男女共同参画推進室長

この度、採択されました文部科学省科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(連携型)」の実施に当たり、連携機関であります大日本印刷株式会社研究開発センター及び山形県立米沢栄養大学との3機関の間でダイバーシティ連携推進会議を設置し、その議長を務めさせていただくこととなりました。

本事業は、3機関が連携して6年間実施することにより、女性研究者の研究力を向上させ、女性研究者が増えること、上位職者が増えることを目的としております。また、共同研究の進展に合わせて参加機関数を増やしていくことも期待されております。

事業の開始に当たりまして、10月には文部科学省科学技術・学術政策局人材政策課の高橋耕輔様、理工系の女性研究者支援に長く携わってこられた小館香椎子先生にお越しいただき、また、2月には、内閣府少子化危機突破タスクフォース政策推進チームリーダー渥美由喜様、EU欧州委員会ジェンダー問題専門アドバイザーのエリザベス・ポリッツァー博士をお招きして、ご講演をいただきましたことは、大変心強い励ましとなりました。しっかりと受け止め、本事業の推進に活かして参りたいと存じます。

また、それぞれの機関からご推薦をいただきまして、6名の委員による外部評価委員会を組織いたしました。継続的に事業を評価いただき、より効果的な取組に改善すると共に、人材育成費補助終了後の継続について、アドバイスをいただくことを願っています。

今年度、女性研究者が研究代表となる共同研究が8件成立し、研究費支援がスタートいたしました。また、妊娠・出産や育児、介護等のライフイベントと研究との両立を支援する制度もでき、利用いただいています。詳しくは、本報告書に紹介しておりますので、是非ご覧ください。

なお、ダイバーシティ連携推進会議の事務局となる男女共同参画推進室米沢分室が、工学部1号館2階にオープンいたしました。専任のコーディネーター、相談員等がおりますので、3機関の関係者をはじめ、ご関心のある皆様にお立ち寄りいただき、ご利用いただければと思います。

長期にわたる本事業が成功し、実り多いものとなりますよう、関係各方面の皆様方のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。